

「周南小中一貫教育校 教育目標」

「夢を持ち、将来を切り拓くことができる周南っ子の育成」

○めざす児童・生徒像

周南を愛し、思いやりのある心を持てる子

何事にも粘り強く取り組む子

自ら学び続ける子



「あらぶすなみ」

周南小中一貫教育フォーラムを開催しました

11月29日（木）に周南小学校、周南中学校を会場とし、「周南小中一貫教育フォーラム」を開催しました。千葉大学教育学部特任教授 天笠 茂先生、南房総教育事務所次長 庄司 彰先生、長狭学園鴨川市立長狭中学校教頭 石井聖一郎先生を来賓としてお迎えし、県外（福岡県、静岡県、栃木県、東京都）、県内各地の先生方、小中学校の保護者の皆様、周南地区の皆様など約230名の参加がありました。

午前中は、周南小学校で全体説明の後、**12の授業公開**を行い、授業の様子を観ていただきました。小中一貫教育の柱である「主体的・対話的で深い学び」の算数、「中学校教員の乗り入れ授業」での算数、「キャリア教育」の視点から学級活動・生活科・生活単元学習、「豊かな人間関係づくり」から学級活動、「地域学習」から総合的な学習の時間での授業を実施しました。どの授業も、すべての児童が集中し、目を輝かせて取り組んでいる様子が見られました。



午後は会場を周南中学校に移し、**7の授業公開、天笠教授による講演、パネルディスカッション**を行いました。



授業公開では、中期（小5、小6、中1）の児童・生徒が地域学習として体育館で「史跡めぐり」の発表、「小学校教員の乗り入れ授業」として数学、「キャリア教育」の視点から総合的な学習の時間、「豊かな人間関係づくり」の視点から道徳、また、視聴覚機器（タブレット）の活用授業を実施しました。体育館での史跡めぐりの発表では、中学校1年生がリーダーとなり、各グループが熱心に調べたことを伝える姿が見られました。

また、その他の授業でも真剣に取り組む姿がたくさん見られました。

天笠教授からは、「地域とともに歩む小中一貫教育」として、小中一貫教育を充実させていくためには、保護者や地域の理解がとても大切であり、学校運営協議会等を活用し、保護者や地域に学校がやろうとしていること、地域が学校に対して協力できること等を理解・共有していくことの必要性について話をいただきました。

最後のパネルディスカッションでは、「持続的・発展的な施設分離型小中一貫教育の在り方を求めて」をテーマに保護者アンケートからの疑問、「小中一貫校って何？」「成果は？」「保護者や地域は何をすればいいのか？」「他の学校の様子を知りたい」等の視点でパネリストの方からお話をいただきました。パネルディスカッションでの話の内容については、次回の小中一貫だよりで紹介したいと思います。お忙しい中パネラーを引き受けてくださいました周南連合自治会長 山口由紀夫様、周南小学校学校評議員 堀口宏美様、誠にありがとうございました。

周南小中一貫教育校としては、今回のフォーラムで皆様からお聞かせいただいたことを参考として、地域とともに持続的・発展的に進めていきたいと思っています。

終わりに、本フォーラム開催に当たり、お忙しい中運営にご協力くださいました周南小中学校保護者の皆様、君津市教育委員会の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

文責 小学校長 三田彰一